

今回は、関市本町商店街ナカキ金物店さんでのシャッターアート制作の活動報告です。

◇ シャッターアート制作まで

昨年度のある放課後、美術部の部活動中に誰かが「シャッターアートとかやりたいね。」そうつぶやいたのを当時2年生だった河野藍花さんが拾い上げ、NPO 法人ぶうめらんの北村隆幸さんにダイレクトメッセージで打診したことから始まりました。河野さんと部長の永田琴乃さん(当時2年生)主体で何度もやり取りを重ね、打ち合わせなどしました。活動は現1・2年生に引き継がれ、関市をテーマにしたデザイン案を提出し、実現にこぎつけました。

◇ シャッターアート完成しました！

日時： 2022年11月27日(日) 場所： 関市本町商店街ナカキ金物店
参加者： 関高校美術部1,2年生(13名)
協力・協賛：NPO 法人ぶうめらん(商店街との折衝)、ナカキ金物店(描く場所の提供)、
三輪塗装(塗り方指導)、太田塗料(ペンキの提供)、アトリエ波(技術指導)

今回シャッターアートを作成するにあたり、本当に多くの方々のご支援を賜りました。何の技術も実績もない高校生に描かせていただけたことには感謝しかありません。寒い中で活動していましたが、道行く人が興味を持って「何を描いてるの?」「きれいだね。」などと声を掛けてくださったことも大きな励みになりました。



生徒たちは、シャッターに描くことも、ペンキで塗ることも、2.5m×2.5mという大きさの絵を描くことも初めての体験のため、慣れるまでは大変そうでした。普段以上の集中力を発揮し、「憧れのシャッターアートができてとても嬉しいです。」と言いながら、一筆一筆慎重に塗り進めていきました。

生徒の感想は「多くの人が見てくださる場所に皆で一つの作品を仕上げるのができて良かった。」「人生でなかなかできない貴重な体験をさせていただけてありがたいです。」「先輩方が進めていた企画なので、先輩達とも一緒に出来たら良かった。」などがありました。

最後には商店街の方が「もう2,3枚(シャッターに)描いてみればいいのに。」と言ってくれました。もし機会があれば、またぜひ制作したいです。

また、この取り組みを新聞でも取り上げていただきました(11月30日付岐阜新聞、12月1日付中日新聞中濃版掲載)。